



# 笹小だより

No. 8

平成28年11月30日

横浜市立笹野台小学校

## 心のアンテナ

校長 倉岡 ナオミ

いよいよ2016年もカレンダーをあと1枚残すのみとなりました。11月24日には、54年ぶりの11月の降雪に驚いたところです。きっと子供たちは大喜びだったことでしょう。低学年の子供たちは、思いがけず、生活科の冬の学習が体験を伴ってできました。

寒くなってくるこの時期は、インフルエンザやノロウイルスの流行に警戒が必要です。学校でも早めの注意喚起（うがい手洗いの励行）や対応（嘔吐や下痢の状況の把握や消毒）を、全職員で行っているところです。おかげさまで、今のところ大きな流行は見られませんが、各御家庭においても、子供たちの朝の健康観察を十分にいただき、体調不良のまま登校することのないよう（辛い思いをするのは子供たちですので）、御協力をお願いいたします。

さて、先日、科学クラブの活動において、こども科学館の職員による、出前科学教室を行いました。「シャボンフレームを作ろう」という活動で、モールを使っていろいろなフレームを作り、様々な形のシャボン玉を作って楽しみました。最初のデモンストレーションでの大きなシャボン玉には子供たちから歓声があがりました。科学の不思議に目を輝かせる姿は、その後の活動や探究に向けての意欲を感じさせました。また、区巡回展では他校の絵や習字の作品を熱心に見てメモをとったり、友達と感想を話し合ったりする姿も見られました。そして、芸術鑑賞教室では、劇団の方々の演技や音楽、演出などに引き込まれ、お話の主人公や場面に自分を重ね合わせ、素敵な時間を過ごすことができました。こうした物事に感動する心、感じるができる心のアンテナを大切にしてほしいと思っています。きれいなものを見て、きれいだなと感じる、悲しい場面を見て、悲しいと思える・・・それは、自分に関わる事柄を素直に受け取り、表現しようとする心であり、相手の表情や気持ちを感じ取る心にもつながることではないかと思うのです。

12月は「いじめ防止啓発月間」です。もし、周りの友達的心を感じ取るアンテナがもっとしっかりしていたら、今起きているようないじめの問題は、このように大きくはならなかったのではないかと思うのです。私たち大人も子供たちの心が本当に見えているのか、わずかなことも見逃さず感じるができるアンテナの感度をもっているのか、全職員でも確認をしたところですが、自分自身への深い自戒も込めて、改めて考えてみたいと思います。



笹野台小学校合い言葉

元気いっぱい

やさしさいっぱい

笑顔いっぱい

心かがやく笹小キッズ

笹野台小Web

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sasanodai/>

検索

横浜市立笹野台小学校